

2025年3月12日

## 2025年 春季交渉について

### 多様な人財が個性や強みを活かして活躍・成長できる会社へ

パナソニック インダストリー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員・CEO：坂本真治、以下 当社）は2030年のあるべき姿として定めたビジョン「未来の兆しを先取り、お客様と共に社会変革をリードする」の実現に向け、“人”を中心に据えた経営を実践しています。社員一人ひとりの“想い”を起点とした挑戦が称賛され報われる文化をつくり、個人が持つ能力を最大限に解放することを通じて、人と組織が共に成長し続ける会社を目指し、新たな人財戦略の元、さまざまな人事制度や仕組みの導入を進めています。

2025年春季交渉では、高い貢献意欲のある社員がモチベーション高く働き続ける会社を実現すべく、労働組合に対し以下内容の回答を行いました。

- 1. 賃 金**：当社最高回答水準を継続し、賃金改善率 5.2%  
全ての等級の定期昇給、賃金体系改定分、ペア相当額を含む
- 2. 賞 与**：満額回答により5.1ヵ月とする
- 3. 初任給**：満額回答により、以下のとおりとする  
高校卒 203,000 円、短大卒 219,000 円、高専卒 235,000 円  
大学卒 265,000 円、大学院卒 293,000 円

#### 4. 当社におけるジョブ型人財マネジメントの考え方

当社は、2022年の創業以来、私たちが大切にしてきた「人財」を基盤に、役割やスキルに応じた新しいジョブ型処遇体系への改定を力強く進めています。2025年度からは全社員にこの新しい体系を適用し、各自に求められる役割や責任に応じて、自ら想いを動かし、挑戦することを評価することで、より高いパフォーマンスを引き出す環境を整えてまいります。

同様に、2026年度からの新卒採用においても、学歴に依存した初任給の概念を撤廃し、高いスキルや知見を持つ方々に挑戦の機会を提供し、それに見合った処遇を実現します。これにより、2025年4月から導入する65歳定年制度とも相まって、「年齢に関わらず活躍できる環境」を実現し、誰もが公平に挑戦する機会を得ながら多様な人財が個性や強みを最大限に活かして活躍・成長できる会社を目指してまいります。

（関連リンク）[65歳へ定年延長、役割に応じた適切な処遇制度を導入](#)

---

## 【パナソニック インダストリー株式会社について】

パナソニック インダストリー株式会社は、パナソニックグループにおけるデバイス領域を担当する事業会社です。グローバルで約 41,000 人の従業員を擁し、2024 年 3 月 31 日終了の会計年度で 1 兆 426 億円の売上高を計上しています。「多様なデバイステクノロジーでより良い未来を切り拓き、豊かな社会に貢献しつづける」をミッションにかかげ、情報化社会の進展にともなうデータ爆発、モビリティ社会における環境・安全性要求の高まり、モノづくりにおける労働力不足などを背景に、継続的な進化が求められる領域に注力し、コンデンサ、電子材料、EV リレーなど、固有の材料技術やプロセス技術で特長の際立つ顧客価値を提供し続けてまいります。パナソニック インダストリーの詳細については <https://www.panasonic.com/jp/industry> をご覧ください。

### ＜パナソニック インダストリーの人財戦略「想いを、動かせ。」＞

私たちは社員一人ひとりの“想い”を起点に人と組織が共に成長し続ける会社を目指します。社員が“想い”を動かし、取り組みを推し進めることで、「見えないところから、見違える世界に変えていく。」を実現します。自己変革し続ける人財を育てること、そして変化に強い組織を育て、“想い”を実現できる組織であり続けるために、人財戦略コンセプト「想いを、動かせ。」を策定しました。<https://recruit.industry.panasonic.com/>

---